



あずっ子

入間市立東町小学校学校だより

7月 1日発行

発行者 校長 野口正孝

こどもも おとなも 元気いっぱい 東町小!

在籍児童数472名(7/1現在)

地域から学ぶ

学期末となり、授業参観・懇談会では大変お世話になっております。コロナ禍ではありますが、今回は一斉の授業参観とさせていただきます。今後も感染防止に留意しながら、学校行事を進めてまいります。

さて話は変わりますが、私の住まいは越生町にあります。小さな町ですが、1889年には越生町として成立していますので、町制を始めたのは埼玉県でも早いほうでした。歴史に顔を出すのは鎌倉時代です。手柄を立ててこの地を獲得した越生氏が、越生町周辺を治めた頃からです。古い町ですので、大字以外に小字(字)も残っています。私の住まいは大字は越生ですが、小字は「倉田」といいます。なぜ倉田かと調べてみると、面白いことがわかりました。越生氏の一族に倉田孫四郎基行という人がいました。この人物は越生町の「法恩寺」というお寺を復興したことで知られているのですが、その倉田孫四郎基行の館が私の住んでいるところにあつたのではないかとされているのです。近所の方の敷地内には、城跡のような石垣もあるとのこと。越生氏の一族である黒岩氏、成瀬氏、岡崎氏はそれぞれ越生町内を治めていましたが、今でも越生町内には「黒岩」「成瀬」という地名が残っています。また、岡崎という地名はありませんが、町役場の裏に「岡崎薬師」というお堂があります。地名というのは面白いもので、こうした昔の人物からとったものや、地形からくるものが多いようです。私の実家は「滝ノ上」という小字ですが、実家の下には、むかし滝があつたそうです。もっと古い地域になると、「屋号」というのがあります。私の実家は「肘松」といいました。今ではだれも使わなくなりましたが。

先日、地域の方とお話ししているときに、この東町の歴史を教えてくださいました。東町小学区には、大字が「黒須」という地域があります。黒須というと入間川沿いの地区を指すと思っていたので不思議に感じていましたが、ジョンソン基地が返還されるときにもともとその地域一帯が黒須だったため、飛び地として黒須という地名が残ったのだそうです。また、この地域には集団で移住してきた方がいらつしたそうです。奥多摩町には「小内ダム」というダムがあります。このダムが昭和32年に完成しました。その際、いくつかの村がダムに沈んでしまったのですが、その代替地としてこの東町地区に移り住んだ方がいらつしたそうです。その時の「移住の碑」も残っていると聞き、探してみました。その碑は、住宅街にひっそりと建っていました。話をしてくださつた方はこの小内ダムから移住者してきた方ですが、昔の地図を見ながら「これが私の実家です」と話してくださいました。東町のように住宅地となっている地域の歴史はなかなかわからないことが多いのですが、地域の方の話を聞きながら自分でも地域を探索してみると、急に親しみを持つようになります。最近では入間市出身の映画監督、宮岡太郎さんが入間市を舞台にした「ラストサマーウォーズ」という映画を作りました。6年生は7月13日にこの映画を見に行きます。宮岡さんは入間市を盛り上げたい、子どもたちを笑顔にしたいという思いからこの映画を作つたそうです。地域から学ぶことは多いと思います。地域のことを知るからこそ、郷土愛が芽生えると思います。コロナ禍ではありますが、できるだけ地域を学び、郷土愛を持ってほしいと思います。

1学期も残り20日となりました。学習や生活のまとめをする時期になります。学習面では1学期に学んだことを振り返り、しっかりと身に付けてほしいと思います。また、生活面では「当たり前」のことが「当たり前」にできるようになってほしいと思います。急に暑さが増してきましたが、健康面に気を付けて、しっかりと1学期のまとめをしてほしいと思います。そして、充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。